

THE ELECTRIC VERSION

トルネードが、次の時代のサウンドに触れた。

MORRIS POWER DOCUMENT

“トルネード”そのすべてのブラック

ボックスの公開

エレクトリックサウンドが音楽現場でパイロット的なパワーを持ったいま、アコースティックギターの領域にもエレクトリック化の波が押し寄せてきました。時代はダイナミックに進化しています。エレクトリック・バージョンの、“トルネード”の出現がこのサウンドシーンをさらに大きく変えようとしています。独自の一体成型の音響ボディが、アコースティックな響きを減衰させることなく、均一なサウンドを引き出す。アコースティックギターとして理想の音響特性を保証していますが、エレクトリックギターとしてのその優れたかざかの性能を生かせば、楽しみ方だってさらに拡大。その本性を見ぬき、これを生かせばいままでにない独自の新しいサウンドの世界が見えてくるはずです。

ZOOM UP MATERIAL ITEMS

音響技術と木工技術の粋を集めた

“次の時代のトルネード”

モーリスギター長年の蓄積されたノウハウをベースに、最新の音響理論に基づく技術を駆使して生まれた、トルネード。こまやかな個所にも研究が続けられた末の結論が、クラフトマンシップの高い技術の結晶とともに脈々とあります。

ボディ材に軽く、強度の高い強化グラファイトを採用。特定の周波数に固有共振を起こさず、あくまでフラットなレスポンスで、均一なサウンドを弾き出します。……トルネードのボディ材には、特殊ガラス樹脂の研究から生まれたグラファイトを一体成型して使用しています。この新たな素材を得て、サウンド追求の可能性が一段と拡大しました。ある特定の周波数に共振して、音にクセがつくということがなくなりました。また、ボディ鳴きから起るひずみも皆無。フラットレスポンスのクリアーな音の響きを減衰させることなく、安定してひき出します。

音響理論に裏づけされたボディの形態。半放

物線を描くラウンド・バック構造によるところの“パラボリック・カーブ・フォーム”を開発、採用しました。……ボディそのものの材質はもとより、その形態もまったく新しいものです。集音器(パラボラ)と同じ音響効果を得るように、そのフォームは半放物線を描くなどらかなカーブをもたせています。ボディ内で、音が隅にこもったり、乱反射による音の干渉は無いに均しい理想の音響特性を得ました。音のエネルギーをサウンドホールに効果的に集め、音がこもることなく、バックに伝わってきた音に深みや拡がりを与えます。

ウッド・トップとのバランスは絶妙。見事な緊張感の中に、弾き始めの瞬間からベストサウンドを響かせます。モーリス長年にわたる楽器づくりから得た経験に基づき、ボディ・トップの木の材質、厚味、木目に厳しい目を注ぎ込みました。強化グラファイトの新しい素材と、パラボリック・カーブ・フォームの理想の構造を限りなく生かし、絶妙のバランスでマッチング。弾いた瞬間からベストサウンドが響くギターを生みだしました。カット&トライのチャレンジ精神がひとつの名器を生みだし、オールドギター神話をもうひとつ創りだしました。異なった素材がお互いに持ち味を出し、絶妙のバランスで密度の高いサウンドを、弾き始めたその瞬間からカムアウトします。音の伸びと余韻を余すところなく弾き出す、U型溝つきサウンド・ブリッジを新たに開発しました。……エンドピン受部がボディ・トップと水平になるために、弦のテンションは確実に高まり、弦をよりパーフェクトにホールド。まず音の伸びと余韻が違います。また、骨板にじゅうぶんな厚みを持った5mm厚のものを採用しているため、オクターブ調整が可能。オリジナル調整と併用できるよう、スペアー用の骨板をもう一枚付属させました。心憎いばかりの配慮です。

●楽器に不可欠な弾き応えを生むスリムなネック。弦高も従来のアコースティックギターより低く設計されているため、ロック系の早弾きにも心地よいスムーズな演奏性を実現し

